

第64回岩手芸術祭「県民文芸作品集第42集」入賞者名簿

| 部 門 | 賞 名 | 作 品 名 | 氏 名 | 居 住 地 |
|----------|-------|---|-----------|---------|
| 小 説 | 芸術祭賞 | 山峡の群像 | 伊 勢 八 郎 | 一 関 市 |
| | 優 秀 賞 | 大震災 | 留 畑 眞 | 釜 石 市 |
| | 奨 励 賞 | ファルー先生と太一 | 小 原 康 二 | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | 愛の輪廻 ^{りんね} | 山 田 眞 砂 夫 | 遠 野 市 |
| 戯 曲・シナリオ | 芸術祭賞 | アクアリウムラブソディ 水族館狂詩曲 | こむろこうじ | 久 慈 市 |
| | 優 秀 賞 | 明日さがし | 茂 田 眞 小 夜 | 山 形 県 |
| | 奨 励 賞 | 薄明光線 | 匂 坂 日 名 子 | 奥 州 市 |
| 文 芸 評 論 | 芸術祭賞 | 該当作品なし | | |
| | 優 秀 賞 | 「検閲制度」を通じた温かで客観的な近代文学史 ～『風俗壊乱』(ジェイ ルービン)の意味～ | 吉 田 直 美 | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | あゝ自分は詩人として生まれて来たのであった －啄木『あこがれ』の世界へ－ | 佐 藤 静 子 | 盛 岡 市 |
| 随 筆 | 芸術祭賞 | 命のソップ | 山 口 トヨ子 | 花 巻 市 |
| | 優 秀 賞 | 母の思い | 石 川 明 世 | 花 巻 市 |
| | 奨 励 賞 | 百日紅 | 細 野 戦 司 | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | 鳥帰る | 岩 淵 眞 理 子 | 平 泉 町 |
| 児 童 文 学 | 芸術祭賞 | 続け、いのち | 加 藤 美 南 子 | 八 幡 平 市 |
| | 優 秀 賞 | 命を救ったラジオ | 千 葉 留 里 子 | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | 誓いの火花 | 武 猛 | 北 上 市 |
| | 奨 励 賞 | この海にむかって | 中 村 祥 子 | 大 船 渡 市 |
| 詩 | 芸術祭賞 | あの角をまがれば | 河 野 康 夫 | 盛 岡 市 |
| | 優 秀 賞 | 鈴が鳴る | 平 山 千 春 | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | 呼び名 | 吉 田 修 三 | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | カミサマの宿題 | 吉 田 茉 莉 子 | 盛 岡 市 |
| 短 歌 | 芸術祭賞 | 震災 | 伊 藤 淑 子 | 北 上 市 |
| | 優 秀 賞 | 稲田 | 菊 池 トキ子 | 奥 州 市 |
| | 奨 励 賞 | 土の匂 | 阿 部 スミ子 | 奥 州 市 |
| | 奨 励 賞 | 鶉草 | 清 水 芳 子 | 盛 岡 市 |
| 俳 句 | 芸術祭賞 | 祈り | 岡 部 玄 治 | 盛 岡 市 |
| | 優 秀 賞 | 楽人 | 平 山 千 江 | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | 玫瑰 | 和 田 タケ | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | 永平寺 | 内 村 唐 春 | 紫 波 町 |
| 川 柳 | 芸術祭賞 | 雑詠 | 箱 石 松 博 | 宮 古 市 |
| | 優 秀 賞 | 雑詠 | 中 島 久 光 | 盛 岡 市 |
| | 奨 励 賞 | 雑詠 | 小 田 島 花 浪 | 花 巻 市 |
| | 奨 励 賞 | 雑詠 | 小 笠 原 正 花 | 釜 石 市 |